

平成 29 年度

第 12 回（3月）教育委員会定例会会議録

日 時：平成 30 年 3 月 27 日(火) 15 時 15 分～16 時 40 分

場 所：村民センター小会議室

出席者：教育長 清水 閣成

委 員 三澤 久夫・清水 道直・林 百代・出羽澤和子

事務局：教育次長 伊藤 弘美

書 記：百瀬 亜紀

以上 7 名

1 開 会

2 教育長あいさつ

- 教師・国語研究家大村はま先生の言葉に「力は使い切ったときに伸びるもの」「ありったけ力を使うと、またどこから湧いてくるのではないか、誰から哀れに思って賜るのではないかと私は思いますが、使い切らないことには湧いてこないようです。」があります。卒園式 小中・上農高校卒業式・大学、大学院の卒業証書・学位記授与の姿を観ていて、この子、この生徒・学生は持っている力をありったけ使った経験があるのだろうか…。そんなことを感じておりました。また、自分自身はどうだろうか… そんなことを見返しております。
- 大きな節目を向かえ、更に伸び行く卒業生にエールを送りたい。

3 報告・確認事項

(1) 3月議会答弁内容について

＜教育次長＞

資料にもとづき、報告がなされた。（会議資料 1）

(2) 小中学校教職員、村職員人事異動について

＜教育長＞

資料にもとづき、報告がなされた。（会議資料 2）

(3) 後期入試結果について

＜教育長＞

資料にもとづき、報告がなされた。（会議資料 3）

(4) 児童・生徒数について

＜教育長＞

資料にもとづき、報告がなされた。

平成 30 年 3 月、4 月の児童生徒数を併せて報告。（会議資料 4）

(5) 事故報告

＜教育長＞

資料にもとづき、報告がなされた。

3月27日現在で学校・教育委員会に寄せられている保護者からの請願などについても話合う。(会議資料16)

(6) 各委員から(課題、希望)(口頭にて)

＜三澤職務代理＞

卒業式の反省を各学校と共有していくことが大事。学事報告の簡略化(精勤・皆勤欄は不要)、児童の子名に対する返事(マイクの使い方含)等、工夫が必要ではないか。:30年度入学式から学校と連絡・連携を取っていく。

教育長・教育次長は小学校2校に分かれて参画する方向で。

＜教育長＞

30年度入学式より実施。

(7) 3月事業報告・4月事業計画について

＜教育次長＞

資料にもとづき、報告がなされた。(会議資料17)

(8) 4定例会日程について

4月26日(木)15時から 終了後、新校長・教頭歓迎会を予定
5月定例会 未定

(9) その他

① 県外研修について

平成30年5月17・18日に東京で開催される「教育ITソリューションEXPO」への研修はどうか。

村としてICT教育に力を入れていく参考としていくことを大事にこの方向で検討していく。

② 上伊那市町村教育委員会の報告及び確認

- ・上伊那市町村教育委員会規約の確認
- ・働き方改革について

県の提案を受け、今後市町村でどう取組むか。

- ・教育委員会の運営について

教育行政の取組みにおいて、教育委員と教育長との合議により方針を決定していくレイマンコントロールの立場を担保していく。

③ 「第三次南箕輪村こども読書活動推進計画」策定(資料)

④ 「第4次南箕輪村男女行動参画行動計画」策定(資料:ダイジェスト版)尚、行動計画は村HPにアップ。

以上